



いわゆる引きこもり

Aさんの場合 (30代男性)

Aさん
発達障害
社交不安障害

なぜかまわりとうまくいかない
中学時代

なんでだろう...

学校に行きたくなくなり
外や人が怖くて出れない

学校
10年後
家でゲーム

母親が保健所に相談

保健所から三家クリニックに連絡がきます

三家クリニックのワーカー(精神保健福祉士)がしっかりお話を聞きます

医師が自宅を訪問して診療します
看護師や作業療法士が訪問して外出支援をします

困ったらすぐにワーカーさんに相談

先生が家にやってきました

訪問看護で外出も

外に慣れてきた

今は就職をめざして
就労移行支援事業所に通っています!

デイケアに出て人に慣れたり

自分を知ったり

一度にたくさん言われるのが苦しかった

Aさんご本人コメント

ひとりでずっと不安だった。外に出られたときは、なにかできると思ってうれしかった。最初は人が怖かったけど、今は友達もいて、つながりを感じている。



ご家族が保健所にご相談くださり、当院へつながったケースです。この男性は、診断名としては「発達障害」「社交不安障害」となります。中学から不登校で、いわゆる「引きこもり」と呼ばれる方でした。集団が合わない方でも、ご本人が特性を知り、環境を変えれば、自分らしい、いきいきとした生活を取り戻すことができます。就労という目標を見つけ、ご自身に合った福祉サービスを選ばれました。ほかに地域と密に連携しておりますので、生活介護・生活支援・就労継続支援・ハローワーク等へ紹介し、どう生活したいかなど、ご希望に沿った選択をしていただけます。

幻覚や妄想におびえる

Bさんの場合 (20代男性)

Bさん
統合失調症

長いあいだ我慢してストレスを抱えていると病気になることが多いと言われています

仕事が忙しい
家族が厳しい
みんながウロクしている...

みんな逃げろ!!!

調子が悪くなり地域の病院に入院することに...

三家クリニックは地域の病院と連携しています
～みんなでお目撃中～

お家でだいぶ良くなった

退院後はヘルパーさんと料理や掃除をしたり

三家クリニックに通院したり

担当ワーカーさんと面談したり

訪問看護に来てもらったり

時々うわさは聞こえるけれど...

ストレスを逃がす対処

デイケアの再発予防プログラムで対処法を学んでいます!!

Bさんご本人コメント

声が本当に聞こえて怖かった。どうしていいかわからなかったけど、だんだんと病気を知らうちに、なんとか対処できるようになってきた。自分と同じ人がいて、とても心強い。



統合失調症は、100人に1人はかかると言われている、ポピュラーな脳の病気です。怖いイメージを抱いている方がおられるかもしれませんが、実際にとても怖い思いをされているのはご本人です。幻覚や妄想などの急性期(病気になり始めの時期)の症状は、服薬で緩和されます。また持続した症状をお持ちでも、対処し、コントロールしながら、望んだ生活をしていらっしゃる方もたくさんおられます。デイケアでは、病気や自分のことをよく知るためのプログラムが多く組まれています。